

(大治町)

市町村の 基本情報	学校数	小学校3校	中学校1校
	地域学校 協働活動 推進員等 の配置状 況	統括的な地域学校協働活動推進員	0人
		地域学校協働活動推進員	1人
		統括コーディネーター	0人
		地域コーディネーター	2人
	CS及び 地域学校 協働本部 設置状況	CSを導入している学校数	小3校 4校合同で学校運営協議会を設置
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小3校	中1校



ネットワーク連絡会で学校の取組を聞く

(活動の実際)

<輝け！大治スピリット(総合的な学習の時間)の支援>

(目的) 3年は「くらし」、4年は「環境」、5年は「共に生きる」、6年は「未来」をテーマに、大治町のことを「知り」、「提案」し、「実行」する取組を行う。

(内容) それぞれの学年が学んだことをもとにJA・役場・社会福祉協議会・保護者に対して提案を行い、その提案をもとに協働した地域活動を実行する取組を行う。特に「提案」「実行」の場面では保護者・地域の方々も巻き込んで一緒に考える場とした。

<地域連携子ども応援活動ネットワーク連絡会(地域学校協働本部)>

(目的) 学校支援地域本部を中心に、学校支援及び学校外の子供支援に取り組む企業、NPO、各種団体等の緩やかなネットワークを作り、地域学校協働活動の推進を図る。

(内容) 毎年、情報交換や研修会を実施している。令和7年度は7月17日に連絡会を開催し、大治小学校が、3~6年生の総合的な学習の時間で取り組んでいる活動実践を説明するとともに、各種団体に参画を呼び掛け、地域協働のためのアイデアを募った。

<はるボラフレンズ(学校支援地域本部)>

(目的) 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供たちを育てる体制を整えることを目的とし、あわせて地域の教育力の向上を目指す。

(内容) 授業サポート(家庭科実習、理科実験の準備、書写の指導補助、昔遊びの伝承、校外のプール施設への付き添いと見守り等)、図書サポート(図書の整理整頓)、校外学習引率サポート、環境サポート(消毒作業、植栽、除草等)、その他(子供たちのためにできること)を行う。学校から依頼があった日時・活動内容をもとに、学校支援地域本部が参加希望者を募り、取りまとめて学校に紹介している。

<スタディサポートクラブ(SSC)(地域未来塾)>

(目的) 家庭での学習が困難であったり、学習習慣や基礎学力が十分に身に付いていなかったりする中学生への学習支援を通して、生徒自身が自らつまずきに気づき、主体的に学ぼうとする姿勢を育てる。また、生徒自身が学び残しの克服に努め、基礎基本の定着を図ることを目指す。

(内容) 参加者が、授業で使用している問題集や家庭学習用の問題集等を持参し、指導者に質問しながら自学自習をする。

(◎成果と●課題)

◎地域連携子ども応援活動ネットワーク連絡会は、各団体の活動を紹介し合うことができ、各団体独自のイベント等においても協働したり、他団体から新たな活動のヒントを得たりするよい機会になっている。

◎はるボラフレンズでは、学校のニーズに応じて必要な時に必要とされる人員を配置し、先生の活動をサポートすることができており、学校からは好評である。

●地域学校協働活動について、参加団体・個人の広がりが見られず、地域住民への周知は十分とは言えない。今後、町ホームページや広報等を利用して周知を図りたい。

●地域学校協働活動について、参加団体同士の協働により新たな取組を進めることができるよう、定期的に情報交換会を開催しているが、参加団体が自分たちの活動の幅を広げることには消極的である。

(関係者の声)

・子供たちが地域のためになることを提案して実行しようとする姿に頼もしさを感じた。(役場職員)

・自分ができることで、子供たちの成長に関わることができ、とてもやりがいを感じる。(はるボラフレンズ：地域の方)

・時間をかけて丁寧に教えてもらえるので、毎回参加している。(地域未来塾：生徒)